

おたより

議会だより

2020
10月

vol.162

contents

- 補正予算……………2～5
- 決算特別委員会…6～8
- 一般質問……………9～13
- 各常任委員会……14～15
- コロナ対策費一覧表…16

ホームページはこちら

南陽市議会 [検索](#)



コロナ対策と経済の両立を！

対策費 43億928万円 (9月18日現在)

9月
定例会



9月定例会は、9月1日〜18日まで開会。
承認1件

豪雨災害に係る災害復旧事業費等に関し、専決処分した補正予算の承認を求めるとの。

報告1件

令和元年度南陽市健全化判断比率及び資金不足比率の報告。

諮問1件

任期満了につき法務大臣への推薦を求め、ため意見を求めるもの。
人権擁護委員 黒澤慎一郎氏(新任)

条例・その他5件

1 消防団の救助資機材搭載型消防ポンプ自動車の取得

2 印鑑条例の一部を改正する条例の制定(個人番号カードを利用した印鑑登録証明書の交付)

3 固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定(情報通信技術の利用に関する法律の題名改正に伴うもの)

4 乳牛貸付条例及び和牛繁殖雌牛導入事業貸付条例の一部を改正する条例の制定(農業災害補償法の一部改正による題名改正に伴うもの)

5 東北中央自動車道整備に伴う市道路線の認定2件

※2〜5各常任委員会付託(14〜15頁参照)

補正予算8件

一般会計は、令和元年度決算確定及び地方交付税額の確定による各種補正に伴い、6億9017万円を追加した。

特別会計5件は、令和元年度決算確定に伴う各種補正、人事異動による人件費の補正。

企業会計2件は、人事異動による人件費の補正。

令和元年度決算では、実質公債費比率が前年の11.8%↓11.9%に、将来負担比率は、南陽病院改築の負担増により128.0%↓146.2%と厳しくなった。

主な歳出では扶助費が顕著であり、歳出の構成比率20.0%となっている。

また、単年度での実質的な収支は2億144万円の赤字となった。

以上24件は、承認、同意、認定、可決した。

追加議案1件

最終日に、新たなコロナ対応と災害復旧事業の補正予算1件、3億7778万円を可決し、総額を202億2483万円とした。

議員発議1件

コロナによる地方財政の急激な悪化に対し、国の地方税財源の確保を求める意見書を国に提出するもので、全会一致で原案のとおり可決した。(17頁参照)

一般質問

8人の議員が当局の考えを質した。(9〜13頁に掲載)

新型コロナ関連

感染防止対策補助金

1,800万円

保育所や学童保育施設でのコロナウイルス感染症拡大防止を図るため、衛生用品（マスク・消毒液等）や備品等の購入を補助するもの。

インフルエンザ予防接種助成

1,212万円

新型コロナウイルス感染症対策の一環として、10月から1月末までにインフルエンザ予防接種を受けた下記の方に対し、2,000円の費用を助成するもの。

- 高齢者及び妊婦の方
- 生後6か月から今年度末までに18歳となる方

置賜広域病院企業団負担金

883万円

コロナウイルス感染症対策下で、収益が大幅に悪化している公立置賜総合病院に対し山形県と構成市町とで経営支援を行うもの。



中学校用備品購入費

422万円

ICTを活用した学習環境の充実を図るため下記備品を整備するもの。

- 沖郷中学校用印刷機
- 電子黒板（短焦点プロジェクター）を3中学校に2台ずつ配置

令和2年度

一般会計補正予算

11億5,673万円

補正後総額 202億2,483万円

児童関係職員慰労金給付

1,566万円

子どもの保育・教育等を行う施設等、感染リスクを伴う環境下で、関係職員が強い使命感を持って継続して保育等に従事していることに対し慰労金を支給するもの。



ハイジアパーク南陽指定管理料

3,200万円

コロナ禍の中にあって、一時休業や入館者数の大幅減少により経営状況が悪化していることから増額を行うもの。

新生児子育て特別応援金

2,160万円

令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれ、最初の住民登録が本市で、申請時に本市の住民基本台帳に記載がある子どもに対し、一人10万円を1回限り支給するもの。

議会運営一般事務費

▲373万円

コロナ禍で、今年度の議会各委員会の行政視察を取り止め、長期休校で影響を受けている児童生徒のために予算を活用するもの。



7月豪雨災害関連

浸水被害対策事業

660万円

7月豪雨で床上浸水被害を受けた住宅を対象に移転やかさ上げ等の浸水対策工事及びリフォーム工事に対し、費用の一部を補助するもの。
○移転費用の1/2：上限500万円
○かさ上げ等浸水対策工事の1/2：上限100万円
○リフォーム工事の1/2：上限30万円

産地緊急支援事業補助金

350万円

豪雨の影響で農作物の追加防除のために購入した農薬代等の費用の一部を支援するもの。

豪雨災害復旧事業費

4億1,143万円

7月豪雨により被災した農林施設の測量設計業務委託料・復旧工事費と受益者等が行う被災復旧への支援。

- 農業用施設（堰等） 2億9,770万円
- 林業施設（林道等） 4,694万円
- 公共土木施設（市道、河川等） 6,679万円



財政調整基金積立金

5億3,934万円

決算上剰余金が生じた場合、地方財政法の規定などに基づき基金積み立てを行うもの。

その他

灯油購入助成事業

846万円

低所得者世帯等の冬期間の経済的負担軽減を図るため、県の事業を活用し灯油購入費を助成するもの。（一世帯につき5,000円1回限り）

Nanyo City Council
Public relations magazine



補正予算

Q & A

佐藤 明議員

新温浴施設建設

◎現在の状況は。

〈財政課長〉基本設計まで終わっている。実施設計に移っている段階。新型コロナで市民説明会がまだ開催できてい



ない。

料金設定は、利用客の負担が大きくならないようにしたい。

利用者への説明は、庁内で素案が決まり次第、議会や市民に説明していく。

コロナ支援

◎コロナの影響による

市内の商工業の状況は。

〈商工観光課長〉非常に悪い状態で震災の時よりも悪い。すべての業種で売上げはマイナス。飲食店では7〜8割の減。

◎いつコロナが収束する

か分からない状況で、これからも支援策が必要。市長の考えは。

〈市長〉秋冬はインフルエンザと新型コロナの二重の流行が懸念され、事業者の経営改善が見込めない。支援策はこれからも必要と考

えている。国や県に交付金を強く要望していく。

高橋 一郎議員

児童関係職員への慰労金

◎新型コロナ対応5万

円の支給対象者は。追加の意向はあるか。



〈すこやか子育て課長〉

幼稚園を含めお子さまを預かっている市内全施設の職員が対象になっている。

〈市長〉追加補助は状況を見て判断する。

船山利美議員

置賜総合病院の減収

◎新型コロナウィルス

感染者の受け入れは影響しているか。

〈すこやか子育て課長〉

感染症対策の中心的医療機関になっている関係で手術ができなかったことや、予定していた外来患者が来なかったことが影響していると思われる。地域医療の機能を維持していく



ためには、県と構成市町で減収分を負担する必要がある。

ハイジアパークの譲渡

川合 猛議員

◎問い合わせは何件あるか。また今後の日程は。

〈商工観光課長〉継続している問い合わせは2社。今後の日程は、9月18日の議員全員協議会で実施要項を説明後、ホームページやフェイスブック等で周知を図り、募集を開始する。



山口正雄議員

ハイジアパーク社員の雇用

◎雇用調整助成金が12

月まで延長になったが、事業と雇用を3月まで継続する考えは。

〈商工観光課長〉雇用調

整助成金の対象は、レストランの従業員だけではなく、営業関係の方も対象となる。3月までの雇用については、市としても継続できる

ように研究していく。



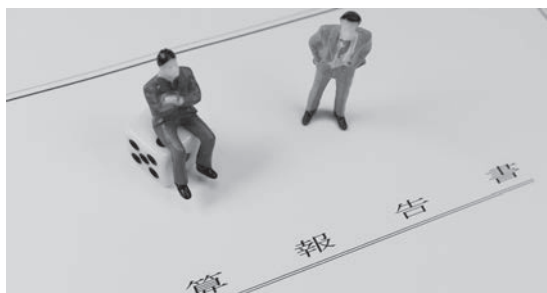


積極財政を

高岡亮一議員

◎1990年代本市は、ハイジアパーク、結城豊太郎記念館、夕鶴の里等の建設途上でバブルがはじけ、議会の関心はいかに財政を切り詰めるかにあった。節約志向が日本全体を覆う。その結果、日本のその後の成長率は世界最低クラス。このままでは日本はどんどん落ち込む。必要などころには予算をつぎ込む積極財政に頭を切り替えねばならないと思うがどうか。

決算特別委員長
板垣致江子
副委員長
片平 志朗



らねばならないことはやっていくという姿勢でありたい。

不納欠損の対応

高橋一郎議員

◎不納欠損の考え方と財産調査で重きを置いているものは何か。

◎税務課長執行停止してから3年経ったものを不納欠損とし、処分は一律公平に行い、不動産は換価できるものは収納していく。

ふるさと納税の使い道

船山利美議員

◎ふるさと納税は前年より4億7千万円ほど増えている。①子育て・教育②地域づくりと定住促進③にぎわいの創出④市政一般の使い道が、今年はコロナ被害への支援となっている。4項目への振り



分けと使い道の説明は

◎商工観光課長4項目の割合は把握していないが、割合が多いのは、子育て・教育、次が市政一般。なお、寄附件数、寄附額は市報でお知らせしている。割合は、次年度以降市報にも記載したい。

高岡亮一議員

◎皆川健次振興基金運用益の用途は

◎観光振興主幹「菊まつり関連事業補助金」に入れて使わせていただいている。

◎ふるさと納税が前年の3.1億円から7.9億円に増えた要因は。

◎商工観光課長寄附

ポータル受付サイトを増やしたこと、主要サイトのプランを定額から寄附額の5%に変更したこと、電子決済の種類を追加したこと、返礼品の数を増やしたりコースに工夫を加えたこと、東京南陽会を始め南陽ファンからの継続的なご寄附、あとは返礼品を取り扱う事業所の協力も大きい。

ふるさと納税は工夫次第でこれからもまだまだ増える可能性がある。足りなくなったところの穴埋めにはなく、本市を売り出す目玉のようなところへの前向きな使い方を考えてほしい。皆川基金にしてもしっかり。

元気が出るまちづくり交付金の原資確保

船山利美議員

◎資源ゴミの売却代金が地域への交付金の原資になっており、地域としては大変使い勝手のいいものになっている。資源ゴミ売却代金減収の要因と今後の見込みは。

◎市民課長指定取引店への売却単価が下がったことと、回収量が前年比で約40トン減ったことが要因。今後は、生活スタイルや経済動向で左右されるが、東南アジアの国々が輸入を禁止したことで、単価は下がる見込み。



多面的機能支払交付金

◎交付金変動の要因は、治水の観点から水田の畦畔再整備も補助可能に。

〈農村森林整備主幹〉交付金は農地転用等の面積変動で変わってくる。畦畔整備は地区からの要望もあるが、制度上、国・県は毎年する必要はないとの見解。



山口正雄議員

空き家バンク移住の取り組み

◎空き家バンクの今年



度の成約件数と相談件数。移住後の転出の有無。移住者に対する交流会は。

〈建設課長〉空き家バンク登録は18件で5件成約。相談件数は49件。〈みらい戦略課長〉移住相談は36件。移住者のコミュニティは検討していく。

船山利美議員

山形鉄道駅舎の除雪

◎各駅舎の除雪負担割合は。

〈みらい戦略課長〉市役

所駅舎は、民営後に設置したため市の予算で行う。その他は山形鉄道で対応。

佐藤 明議員

山形鉄道沿線の除草対策

◎通学路にもなっている宮内駅南側の除草の対応は。

〈みらい戦略課長〉苦情など出ないように山形鉄道に善良管理義務を課しており、山形鉄道



で行っている。再度強く要望していく。

◎通学路付近は、早急に点検しなければならぬのでは。

〈教育長〉通学路の点検は8月に行っている。宮内駅南側の件は今後対応していく。

高橋 一郎議員

ホスタタウン事業とその後

◎事業の組織構成、決算の承認の方法と主な事業は。

〈みらい戦略課長〉事業の実行委員は、一般市民と経済界、及び議会・行政。

決算はコロナの関係で書面で行い、大きな支出は、市民訪問団をバルバドスへ派遣した事業。

◎バルバドス国民は本市をどれくらい理解しているか。また、アフ

ターオリンピックの考え方は。

〈市長〉訪問団や協定の締結式を、現地マスコミが大きく取り上げていたので周知は図られたと思う。オリンピック後も、子どもオンラインなど交流を続けていきたい。

シニアの健康増進

◎ハイジアパークのシニアカフェは継続していくのか。



〈副市長〉介護予防の位置付けで行っているが、民間譲渡後どのようにしていくか検討する。

◎民間で温泉利用の介護予防施設があるが補助金の考えは。

〈市長〉健康寿命の延伸、介護予防は大きな課題と考えている。予算編成は厳しいが有効な方法を考えていく。

片平志朗議員

やまがた健康マイレージ事業

◎事業の内容と実績は。〈すこやか子育て課長〉県の枠組みに沿って各自治体で行っている。事業に参加する人に目標を設定してもらい、健康維持に努めた人はポイントがたまり、県内の協力店でサービスが受けられるやまがた健康づくり応援カードが交付される。昨年



実績は351件のカードを発行した。

市報やホームページで周知している。主に健康管理の意識の高い人が利用しているようだが広く周知していく。

高岡亮一 議員
ゴールドマウンテンプロジェクト

◎一昨年から1千万円ずつ3年間交付されている事業の進捗状況は。〈農林課長〉金山活性化推進協議会に国から直接交付される。金山地



東京での商品展示会

区産品の活用を図るところを主眼としたプロジェクトであり、昨年度は、6次化食品6点の試作品を作って東京での展示会で好評を得ている。市では一時借入に対する利子補給と事務的な部分を支援している。

◎金山地区は「神山郷」に由来するとも言われ様々な可能性を秘めた土地なので、商品開発をバネに、地区全体に光が当たる方向性が必要と思うかどうか。〈市長〉国のメニュー

を活用して地域の産品を新しい形で売り出すこのプロジェクトが成功し、他の地区にも波及することを大いに期待している。

地域連携DMO事業

◎事業のこれまでの経過と進展の状況は。

〈観光振興主幹〉一般社団法人山形観光アルカディア観光局が昨年6月開設。本市としては、ポータルサイトの構築等全般的にわたるものについての参画。熊野大社を中心とした南陽市を巡るツアーの造成によって観光客を運んでいただいている。また、インナープロモーションということで地域の方々に地元の良さを知っていただくために、南陽、長井、飯豊、白鷹の機関誌を発行して啓発を行っている。

◎計画路線数と執行状況は。〈建設課長〉国の路線が3路線、県8路線、市16路線ある。整備率に関しては市関係は約6割が終了。

◎都市計画区域のガイ



片平志朗 議員

都市計画等

へみらい戦略課長〉全体的に総合戦略の中でDMOを活用し、観光客誘致に結び付けていく。

ドラインの見直しは。〈建設課長〉今年度中に都市計画マスタープランを策定し、その後、都市計画区域等の変更、都市計画道路の見直しを進めていく。

◎避難者は、テレビの限られた情報しかなく不安を抱えている。スマホからタイムリーに情報を得るため、WiFi環境を整えては。〈市長〉未整備のため、課題として考えていく。

山口正雄 議員
指定避難所のWiFi整備

へみらい戦略課長〉総合計画改定の際にそれぞれ改定している。今年度中に策定していく。



◎向山ソフトボールコートにトイレがなく、試合中に行くことができない。5〜10月は常設すべき。

〈市長〉状況に応じて判断する。

鋭く迫る！ 一般質問

一般質問とは

市政全般にわたり、議員が市の考えを聞くのが一般質問です。一人50分の持ち時間で「壇上質問 → 市長・教育長等の答弁 → 再質問」を行います。9月定例会では、8人の議員が登壇し市政を質しました。議会だよりでは、紙面の都合上、質問と答弁の要旨のみをお伝えしています。市ホームページでは、インターネット録画中継を配信しておりますのでぜひご覧ください。全文記録（会議録）は、12月上旬掲載予定です。

- | | |
|----------------|---|
| 1 島津善衛門（保友クラブ） | 少子化対策を地域振興の核として強化を図るべき
災害時協力協定を締結したEVの充電スポットを推進すべき
ケーブルTVの普及問題と今後の「情報平準化」 |
| 2 片平 志朗（政風会） | 学校における「新たな生活様式」の考え方
ワンストップ行政サービスの必要性と今後の取り組み |
| 3 山口 正雄（政風会） | 白竜湖にツル飛来の調査研究を / 織機川流域の森林整備促進を |
| 4 小松 武美（心政会） | 市役所に総合案内所の設置を / 種苗法一部改正案の議論を |
| 5 高橋 一郎（無会派） | 豪雨洪水の抜本的対策を / 高ツムジ山眺望を活かそう |
| 6 佐藤 明（無会派） | 被災者支援とともに抜本的対策を |
| 7 高岡 亮一（無会派） | 日本財政の今後を問う
「宮内から新しい拠点をつくろう会」最終報告書の評価 |
| 8 佐藤 憲一（政風会） | 第6次南陽市総合計画の策定状況について |

島津 善衛門 議員



人口減少ストップ作戦は 情報平準化の道しるべを

◎少子高齢化を伴う人口の減少は①地域の活力低下やコミュニティの

衰退②購買力の低下による商業の撤退③就業人口の減少による産業の衰退④市財政力の低下⑤老年人口比率の高まりによる社会保障費の増加など、様々な面に影響及ぼす。地域振興の核として強化を図るべきでは。

《市長》本市における少子化の要因は、10代後半から20代前半の世代における転出超過や合計特殊出生率の低迷など、複合的なものと分析している。合計特殊出生率は、目標値1・57に対し、平成30年実績値が1・53と基準値

である平成25年の1・44からは上昇している。「まち・ひと・しごと

創生総合戦略」を策定し、少子化対策に取り組んでいる。より一層、効果的な取り組みを検討する。

◎山形三菱自動車販売株式会社と災害時協力協定が締結された。EV充電スポット設置を推進すべきでは。

《市長》第6次総合計画の基本構想でも、新たにエネルギー、環境分野を「自然の豊かさを守る」として基本目標に掲げた。全国の普及状況等を考慮し、検討を進める。

◎ケーブルテレビの市内への普及状況と、今

後の情報平準化への取り組みは。

《市長》ケーブルテレビの普及は、昭和60年のテレビピア構想指定で開始された。災害時には情報入手する重要なツールとして公共的な役割がある。エリア拡張は、企業自体の課題もあり、何が協力できるかなど検討する。今後の情報平準化については、インターネットテレビや衛星放送など多種多様な情報サービス、コンテンツが日々増えている状況であり、災害時には様々なインターネット伝達ツールを活用して、しつかり情報を伝えるよう取り組みを進める。

その他

片平 志朗 議員



学校の「新生活様式」は ワンストップ行政サービスの拡充を

◎首相の突然の休校要請に対して、どのような協議経過を経て結論を出したのか。

《教育長》対面教育を行うことができないこと大変苦慮した。今回の対応で得た手段に加え、インターネット媒体の有効活用や遠隔による教育活動の実施等で、児童生徒の学びの支援を模索していく。

《教育長》感染症の予防上必要がある場合、学校保健安全法第20条により、学校の設置者（市長）が臨時休校を行うことができる」と規定されている。2月27日に内閣総理大臣より臨時休校の要請を受け、翌28日に県教育委員会からも同様の要請があった。本市では対策本部において慎重に協議検討した結果、各校の実情に応じて臨時休校とする判断をした。

《市長》様々な手続きや地域の要望、困りごとなどで多くの市民が来庁し、各部署に多岐にわたる相談が寄せられている。どこに相談したら解決するのか分かる

《市長》新たな生活様式」はどのよう考えているのか。

《市長》様々な手続きや地域の要望、困りごとなどで多くの市民が来庁し、各部署に多岐にわたる相談が寄せられている。どこに相談したら解決するのか分かる

山口 正雄 議員



白竜湖にツル飛来の調査研究を 織機川流域の森林整備を急げ

◎江戸時代南陽の里にもツルが飛来していた。東北生態系ネットワーク推進協議会の調査結果では、大型水鳥類の生息適性地として本市もツルの越冬ポテンシャルが高いと読み取れる。雷魚の駆除、水質改善も含め、白竜湖の課題解決とともに、将来ツルをはじめ水鳥が飛来する環境作りのため、調査研究に取り組んでどうか。

◎河川整備が進む中で、森林整備が遅れている。気候変動の時代だからこそ急ぐ必要がある。森林整備率の現状は。また、近隣との比較はどうなっているか。

《市長》平成30年度末時点で、森林経営計画が認定されたものでは12%となる。

《農村森林整備主幹》県平均では14%、置賜平均で13%の状況。

《市長》ヒシ除去などの湖面の維持確保への努力を積み重ねていくことにより消滅の危機を防ぎ、野鳥の飛来をはじめ動植物の生態系の保持につなげていきたい。

《農村森林整備主幹》大半が吉野川流域での整備となっている。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいということを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。

《市長》県が推進している森林ノミクスの実質的な進捗を図るためにも、適切な事業を行っていただきたいことを、機会をとらえて申し上げたい。



市役所に総合案内所の設置を 種苗法一部改正案の議論を

◎市民が来庁した時、スムーズに目的の部署に案内でき、職員の事務効率化を図るため、総合案内所を設置する必要があると思うがいかがか。

《市長》総合案内所は山形市のような庁舎も大きく、行政組織も細分化されている役所に見られる。本市の庁舎はコンパクトであり、窓口が集中する1階のフロアも玄関からすぐアクセスできるので、総合案内所を設置する必要はないと考える。戸惑っている人への対応は、職員の接遇と各部署で連携をスムーズに行うことに注力し、案内部門にもITを活用

しスムーズに案内できるように研究していく。

◎種苗法一部改正案の中に、日本の農産物の苗木が海外に持ち出されることを防ぐ目的で種苗の「自家増殖」を、原則禁止にすることが日本の農業を守り発展することにつながるのか、認識を伺う。

《市長》法律案の内容には、種苗の海外流出を防止するための措置や、自家増殖の許諾制が中心になっていることは承知している。日本の農業を守るため、課題を整理し、しっかり議論されることを期待し、今後の推移を注視していく。

◎除草剤の健康被害が問題になっている。主成分のグリホサートを含む除草剤は、公的施設での使用を禁止する必要があると考えているが、市長の認識を伺う。

《市長》グリホサートを主成分としている除草剤は、広く学校や公園、市道等の除草剤として、用量・用法等を守り適切に使用している。海外では健康被害が一部あるとする研究機関があるが、内閣府食品安全委員会では有害性は認められなかったと結論付けている。

◎作業にあたる学校技師士の安全確保は。《管理課長》直接触れないように安全を第一に指導している。

問題になっている。主成分のグリホサートを含む除草剤は、公的施設での使用を禁止する必要があると考えているが、市長の認識を伺う。



豪雨洪水の抜本的対策を 高ツムジ山眺望を活かそう

◎この7月豪雨では雨の怖さを改めて痛感した。抜本的な対策を講じない限り安全安心な生活は得られない。河川改修は、平成26年豪雨程度までは対応できるように鋭意行われて

いる。しかし、それを超す大雨の降ることは昨今の日本各地のゲリラ豪雨被害で容易に想像できる。市長は具体的にこのことをどう考え行動されるのか。

《豪雨比較》参考…金山地区(一)内は26年数値総雨量192(235)mm、1時間最大雨量19(56)mm、時間帯10時～11時(21時40分～22時40分)

《市長》河川流域の保水機能を高め、雨水の流出を抑制する対策として、遊水地の整備は有効な手段。ただ、本市の立地状況からすれば優良な耕作地がなくなること懸念されるなど難しい課題がある。沿線の耕作放棄地を利用するなど、河川管理者の山形県から指導・助言を得ながら研究していく。現在は、河道掘削、護岸及び堤防の改築による強化とともに、最上川を含めた更なる流下能力の向上を図っていただくよう、引き続き重要事項として要望していく。

◎遊水地の通常時のスポーツ利用はどうか。

《市長》様々な課題を整理して検討する。

◎上流支川の砂防工事

《市長》県事業として荻地内をはじめ、計画に沿って整備中。今後早期完成を要望する。

◎羽黒橋、土場橋改修

《市長》県によると、両橋とも流下能力には影響はないとのことだが、現在の復緊事業整備が終了後、置賜圏域河川整備計画で検討すると聞いている。

◎高ツムジ山の眺望について①山々がわかる案内板の設置②北側見晴らしの確保を。

《市長》①構造物の案内板でなくスマホアプリでの表示を検討する。

②樹木の伐採に県の許可があるので意見交換しながら研究する。

佐藤 明議員



被災者支援とともに 抜本的対策を

◎7月末の豪雨災害による被害状況と金額は。

《市長》住家の床上浸水4棟、床下浸水7棟、非住家被害は10棟。市道及び普通河川被害62路線7河川、総箇所数300箇所、被害総額は概算で6879万円。農林関係は、水稲、果樹等の冠水被害で約325ha。畜産が豚舎内や機械器具類の冠水1件。取水堰被害が長岡堰、板堰等11堰。農道、水路等の被害が多数あり、被害額は概算で4億2千万円。

の創設は考えていない。今回の豪雨により浸水

等被害に見舞われた市民を対象に、住宅移転費用に対する市単独補助制度や、県の被災者向け住宅支援制度を活用した住宅かさ上げ等の浸水対策改修費用に対する補助制度等を検討している。

16町2村に災害救助法を適用した。政府も、

本県や九州等に激甚災害の指定を決定したが、交付金、補助金等はどう活用されるのか。

◎コロナ禍という重大な時期に、市長が全国

青年市長会の会長に就任されたことを喜びエールを送る。南陽から日本を動かす気概をもって、日本の財政の今後について考えたい。



高岡 亮一議員

日本財政の今後を問う 「宮内に新しい拠点をつくらう会」報告書

計り知れない。国は100兆円に及ぶ国債を

発行して対策を講じている。国債残高1千兆円に及ぶことで、「後世へのツケが心配」、「増税が必要」の声があるが、それは国の財政を企業や家計とごっちゃにした大間違い。

点をつくらう会」最終報告書の評価は。

《市長》宮内地区を中心にした多くの方々の議論を宮内公民館整備検討の参考にさせていだきたい。



第6次南陽市総合計画の策定状況は

◎諮問から答申までの経緯と今後の対応は。

《市長》昨年7月8日に南陽市振興審議会に諮問を行い、有識者の方々からご意見を伺うとともに、市民ワークショップや高校生のサマーアイデアキャンプを実施するなど、地域住民の積極的な参画を促しながら検討作業を進めてきた。

◎これまでの総合計画との関係は。

《市長》新総合計画は、人口減少、少子高齢化社会を踏まえ、あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができ、持続可能な社会を実現するための指針と捉え、これまでの総合計画に市民参画などの理念を取り込み、新たな7つの基本目標を掲げ、よりきめ細やかで実効性のある施策を展開していく。

◎これまでの総合計画との関係は。

《市長》新総合計画は、人口減少、少子高齢化社会を踏まえ、あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができ、持続可能な社会を実現するための指針と捉え、これまでの総合計画に市民参画などの理念を取り込み、新たな7つの基本目標を掲げ、よりきめ細やかで実効性のある施策を展開していく。

◎これまでの総合計画との関係は。

《市長》新総合計画は、人口減少、少子高齢化社会を踏まえ、あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができ、持続可能な社会を実現するための指針と捉え、これまでの総合計画に市民参画などの理念を取り込み、新たな7つの基本目標を掲げ、よりきめ細やかで実効性のある施策を展開していく。

◎これまでの総合計画との関係は。

《市長》新総合計画は、人口減少、少子高齢化社会を踏まえ、あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができ、持続可能な社会を実現するための指針と捉え、これまでの総合計画に市民参画などの理念を取り込み、新たな7つの基本目標を掲げ、よりきめ細やかで実効性のある施策を展開していく。

◎これまでの総合計画との関係は。

《市長》新総合計画は、人口減少、少子高齢化社会を踏まえ、あらゆる世代が誇りと生きがいを持ち、安心して暮らしていくことができ、持続可能な社会を実現するための指針と捉え、これまでの総合計画に市民参画などの理念を取り込み、新たな7つの基本目標を掲げ、よりきめ細やかで実効性のある施策を展開していく。

こんな議案を審議しました

鋭く迫る！一般質問

委員会のこぼれ

その他

第3回 臨時会

ひとり親世帯と中小企業者支援

第3回臨時会は、8月6日開催。

承認1件 コロナ関連対策としての、ひとり親世帯臨時特別給付金に関し、専決処分した補正予算の承認。

条例1件 中小企業緊急経済対策利子補給等基金条例の設定。新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者を支援する基金の設置。

補正予算2件 一般会計は、国の新型コロナウイルスアウトブレイク感染症対応地方創生臨時交付金による各種補正に伴い、4億7336万円の追加で、総額を190億6809万円とした。

財産区特別会計は、コロナ対策として衛生品等の購入費を補正した。

以上4件は、承認、可決した。

予算特別委員会

佐藤 明 議員 山形県では

コロナ対応従事者への支援金を決定したが、子育て宣言都市として市の独自策の支援が必要では。

《市長》介護施設には対応済。他の事業所には今後の感染症の推移をみて判断したい。

小松武美 議員 市職員採用に関し、現業職員の採用増を含む採用方針は。

《総務課長》人口減少を見据え、採用増ではなく効率化を図る。

高橋一郎 議員 Uターン等交流事業（県外に在住する学生への食支援）の範囲・継続化は。

《みらい戦略課長》県の指針に沿って実施する。

《市長》今後はLINE等のSNSを活用し継続する。

オンライン申請システムの考え方は。

《市長》市民課のオンライン化を進めることで時短やコロナ対応として三密を避けることができる。

災害対策としてダンボールベッドの準備はできているか。

《総合防災課長》一定数の予算は計上している。7月豪雨災害でも一部利用した。

総務 常任委員会

固定資産評価審査委員会 条例の改正

審査報告

付託議案1件

◆固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例の制定

◎「行政手続等における情報通信の技術の利用に関する法律」(行政手続きオンライン化法)



■「情報通信技術を活用した行政の推進等に関する法律」(デジタル行政推進法)とする法律の一部改正に伴う改正で、市民への影響はない。

審査の結果、全員異議なく可決した。

市特産物で県外在住学生を支援



行政報告

◎今年度において、南陽市国土利用計画(第5次)が策定されます。パブリックコメントが実施されましたらご参加ください。

◎コロナ対応の一環で、市内出身の県外在住学生支援として、応募者にお米等の市内特産物を提供した。(受付終了) 150件を超える応募があり予想以上の反響を得た。Uターン活動の推進につなげたい。(委員長 島津善衛門)

文教厚生 常任委員会

印鑑証明 オンライン申請可能に

審査報告

付託議案1件

◆印鑑条例の一部を改正する条例の制定

◎個人番号カードを所有している方が、印鑑登録証明書の交付申請をオンラインで行う場合は、印鑑登録証の添付を要しないものとするため、条例の一部の改正を行うもの。

委員からは、直接窓口で個人番号カードを持参して交付申請した場合の取り扱いについて質問がなされ、従前と変わりなく印鑑登録証明書の添付が必要であるとの説明を受けた。また、証明書郵送時の費用は、申請者負担になるとの説明を受けた。

審査の結果、全員異議なく可決した。

行政報告

◎10月1日から窓口で発行する証明書のキャッシュレス決済を導入。

◎保育・学童保育施設等の新型コロナウイルス感染症自粛率は、保育所等43%、学童41%、児童館43%。

◎GIGAスクール整備学習用タブレット端末2414台発注、1億2100万円。

◎修学旅行は新型コロナウイルス対応のため、中学校が旅行地変更して実施。小学校は概ね10月に庄内地方を中心に検討。学年ごとの校外学習は家庭との連携のもとに実施計画中。

(委員長 坂垣致江子)



中小企業対策 利子補給等基金の設置

審査報告

第3回臨時議会 付託議案1件



◆中小企業緊急経済対策 利子補給等基金条例 の設定

新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中小企業者を支援するため、南陽市中小企業緊急経済対策利子補給等基金条例を設定する。融資限度額は2億円。条例失効は令和8年3月31日。

9月定例会 付託議案2件

◆乳牛貸付条例及び 牛繁殖雌牛導入事業貸

付条例の一部を改正する条例の設定

引用する法律名等の変更に伴い、「農業災害補償法」を「農業保険法」に改正するもの。

◆市道2路線の認定

東北中央自動車道整備に伴い、松沢地区の「白竜大橋側道1号線」及び「白竜大橋側道2号線」を市道認定する。

審査の結果、全員異議なく可決した。
(委員長 片平志朗)



広域議会報告

置賜広域行政事務組合

南陽やすらぎ荘 入札不調

8月31日全員協議会で、南陽やすらぎ荘の改築工事の入札が不調との報告がなされた。

◎入札不調の検証結果

- ①積算時の採用価格
- ②諸経費の積算
- ③図面と内訳書の相違点

等に設計価格と入札価格に差異が生じ、不調となった。

◎今後の対応

令和4年4月を供用開始時期としていることから、設計見直し等の期間短縮を図るため*E CI方式を採用する。

E CI方式とは

短期間での仕様確定や、工期短縮、コスト削減を目的に、平成26

年度に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」の改正によって

制度化された。

※E▽アーリー(早い)

C▽コントラクター

(請負者) I▽イン

ボルブメント(参画)

メリット

○発注者と設計者に加えて施工者も参画することから、施工者が提案する技術やノウハウにより種々の代替案の検討ができ、施工段階における設計変更リスクを低減できる。

○設計に対して施工者の観点から技術協力を行うことで、品質を維持して材料・工法変更など、建設コストの縮減検討が可能となる。

○施工者は事前に設計照査、工事準備等の検討ができ、工事期間を最大化できる。

(置広議員 島津善衛門)

置賜市議会 交流研修会

8月21日、置賜総合文化センターで開催。

講師▽(助)米沢上杉文化振興財団上杉文化研究室室長の角屋由美子氏
演題▽「上杉鷹山〜危機への取り組み」
関ヶ原合戦後、上杉藩は15万石まで減封され困窮を極めた。

経済活性化のため、産業資金を借り入れ、積極財政で産業振興を断行。「水の備え」としての堤防、堰工事。

「飢饉、火事や人材への備え」も怠らなかつた。「人々が安心して暮らせる安定した社会」を目指し、人口増加のための早婚の奨め、高齢者手当、養育手当を支給し、当時から福祉政策に取り組んでいたことに驚いた。

(山口正雄)

みんなで乗りこえよう

今後も事態をしっかりと見据えて対応します

新型コロナウイルス関連補正予算推移一覧表

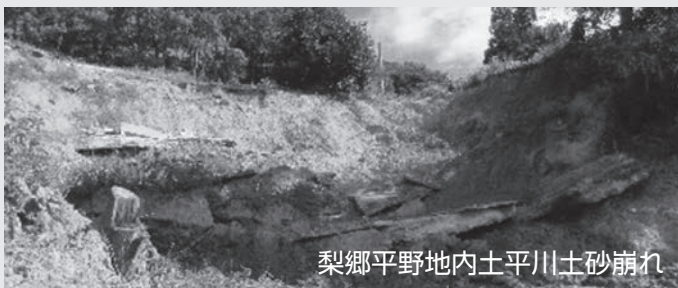
決定日・項目	歳出	歳入(単位:万円)		
		国・県	地方債・その他	一般会計
6月定例会までの累計	36億4,823万円	345,310	4,160	15,353
令和2年7月1日 専決補正予算				
ひとり親世帯臨時特別給付金	4,412万円	4,412		
令和2年8月6日 第3回臨時会 補正予算				
(1)庁舎等感染症対策備品購入整備費	624万円	624		
(2)職員採用試験委託料	60万円	60		
(3)テレワーク環境構築	399万円	221		178
(4)県外に在住する学生への食支援	60万円	60		
(5)電子申請環境構築	65万円	65		
(6)生活困窮者等への食の支援業務委託料	266万円	266		
(7)園芸大国やまがた産地育成支援	280万円	280		
(8)肉用牛肥育経営緊急支援	29万円	29		
(9)畜産経営継続支援	250万円	250		
(10)経済対策				
・ 中小企業緊急経済対策利子補給	3,787万円	3,787		
・ 中小企業保証料補給金	2,031万円	2,031		
・ 事業持続化給付金	7,000万円	5,000		2,000
・ 新生活様式対応支援事業補助	1億634万円	10,634		
・ オンライン化促進支援事業補助	300万円	300		
・ 緊急経済対策利子補給基金積立	2億1,848万円	21,848		
(11)学校休業在宅児童学習支援	500万円		(寄付金)500	
(12)公共施設衛生備品消耗品の購入	1,143万円	1,143		
(13)財源更正		8,189		△8,189
令和2年9月18日 定例会 補正予算				
(1)児童関係職員慰労金給付	1,641万円	1,641		
(2)保育所等感染拡大防止補助	1,400万円	1,400		
(3)放課後児童育成感染拡大防止補助	400万円	400		
(4)置賜広域病院負担金	883万円			883
(5)ハイジアパーク南陽指定管理料	3,200万円			3,200
(6)中学校備品購入	423万円			423
令和2年9月18日 定例会(追加) 補正予算				
(1)新生児子育て特別応援金	2,160万円	1,080		1,080
(2)高齢者・妊婦インフル予防接種委託	507万円			507
(3)子供のインフル接種助成	706万円			706
(4)小学校施設整備	1,098万円			1,098
コロナウイルス関連事業総額	43億928万円	409,030	4,660	17,239

豪雨災害現地視察

河川閉塞・市道破損・揚水堰護床流失
4か所の被害箇所を巡視

9月7日、議員全員で7月26日から29日にかけて降り続いた豪雨で発生した、災害箇所での現地視察を行いました。

この度の豪雨は、本市においても一級河川吉野川が氾濫危険水位を超え、各地で土砂崩れや浸水など甚大な被害を受けました。視察した箇所は、日



梨郷平野地内土平川土砂崩れ

程、時間の関係もあり4か所で、最初に梨郷地区「土平川」の倒木、河川閉塞の状況、次に吉野地区の「市道・坊ヶ里橋線」と「市道・太郎酒町線」の舗装破損、土砂堆積の状況、最後に赤湯地区の「長岡堰頭首工」の護床流失状況の現状を、関係課の職員より説明を受け視察しました。

いずれの箇所も被害は甚大で、現在、激甚災害法の適用を受けながら復旧対策を進めています。

全員協議会とは：

議員全員をもって構成し、審議、議決は行わないが、市政に関する重要な事項などについて協議、全員が共通の認識を持つため、必要に応じ開催される。



三間通地内長岡堰護床流失

地方税
財源確保の
意見書
提出

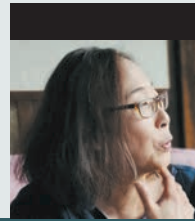
新型コロナウイルス感染症の先行きが見通せない状況の中で

① 大幅なGDPの落ち込みで経済への影響が甚大であり、地方税、地方交付税の減収により、地方財政がこれまでにない厳しい事態に陥ることが予想される。

② 中小企業対策として、固定資産税の政策減税の対象に「土地」を追加するなど懸念される。

以上の状況に鑑み、行政サービスを安定的に提供するため、一般財源総額の確保を強く求める意見書を全会一致で採択し、国に提出することとした。

必要なのは「発信力」



宮内 菊地聡子さん(50歳)

菊人形の伝統を守る(有)美尚堂の三男菊地匠さんに嫁いだ聡子さん
に思いを語っていただき
しました。

■南陽市の最初の印象は
24年前、米沢から嫁
いだ当時は誰も知り合
いがなく、子どもを連
れていく場所もなく、
保育園に行くまでは寂
しい思いで育児をした。
■どう思うようになったか
その後多くの人も
関わるようになって、
この地域ではいろんな
分野で一生懸命な人が

いて、そういう人達に
支えられてまちが元氣
になり、伝統文化が守
られている地域だと思
うようになった。

■今関心あることは

南陽市の文化と伝統。
東北芸工大からの声掛
けがあつて菊人形のこ
とを調べている。四年
前に亡くなった夫の父
(忠男さん)のことが
ら始め、さらにその父
親(熊吉さん)につい
て調べ、いろんな人の
話を聞けば聞くほどす
ごい人だったことがわ
かる。

■南陽の菊まつりのす
ごいところは

長い歴史を持つ菊花
展と菊人形の技術。他
の菊人形は各部門の職
人を全国各地から集め

て作りあげる。しかし、
南陽の菊人形は、熊吉

の技術を受け継ぎ南陽
市の職人が全てを作る。
菊人形は季節が終われ
ば解体され形をなくす
そして次の年に新しく
作り出される。それを
脈々と技を受け継ぎ1
00年以上も繰り返し返さ
れていることを感慨深
く思う。

■これからの菊人形は

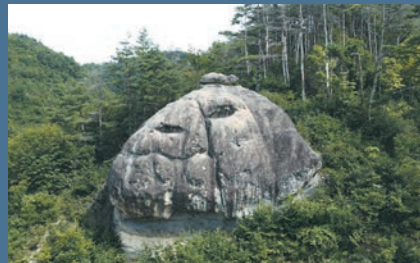
若い人に受け入れら
れるにはどうするかで
はなく、今の菊人形を
さらに極める形で伝え
ていくことだと思ふ。
それに必要なのは、ま
ず「発信力」。

■これからの南陽市は

行ってみたい場所も
食べ物も良いものが
いっぱいあることがわ
かってきた。今は花公
園もあるし子育てにも
いい環境だ。若い人に
移住してきてほしい。

表紙写真

鬼面石



金山は古来「神山」と
呼ばれていました。

慶長年間に砥石沢で金
が採掘されるようになる
と「金山」と呼ばれるよ
うになりました。

主たる採掘現場である
「素金方分」を守るかの如
く「鬼面石」が街道沿い
に鎮座している。

また、周辺には貴重な
「ヒメサユリ」が自生して
おり、7月には甘くとて
も濃厚な花の香りを楽し
めます。

ヒメサユリ



日本特産のユリで花は薄いピンク色で斑点が
ないのが特徴。開花時期は6月から8月で、
花は筒形で横向きに開く。宮城県南部、飯豊
連峰、吾妻山、守門岳、朝日連峰周辺に群生
する貴重な植物。



鬼面石の伝説

昔……このあたりの金山が
あつたころ、三蔵法師の太公望岩の
洞穴に鬼が住んでおり、ここを通る
旅人を襲って金や品物を奪い
人々から恐れられていた。
鬼は七日には岩を岩にわたした
長竿に赤い着物を掛り、岩に
これを見たものは長有に在るも
盲目になるぞ、依らなければ
人々は、今もこの岩を「鬼面石」
呼ぶ鬼の着物を脱した岩を
「架掛石」と呼んでいる
金山地区農業協同組合推進協議会

編集後記

1990年代に6年
間、議会報編集に関わ
りました。議会の動き
の一部始終をきっちり
振り返ることができ
ありがたい仕事です。
今の編集委員会は、
二十数年前に比べはる
かにきめ細かになつて
います。正確な情報を
いかにわかりやすく伝
えるか、その苦心のほ
どを読み取っていただ
ければと思います。ご
感想を議会事務局あて
にお寄せください。励
みになります。

(高岡亮一)

- 委員長 島津善衛門
- 副委員長 山口 正雄
- 委員 伊藤 英司
- 小松 武美
- 佐藤 憲一
- 高岡 亮一

